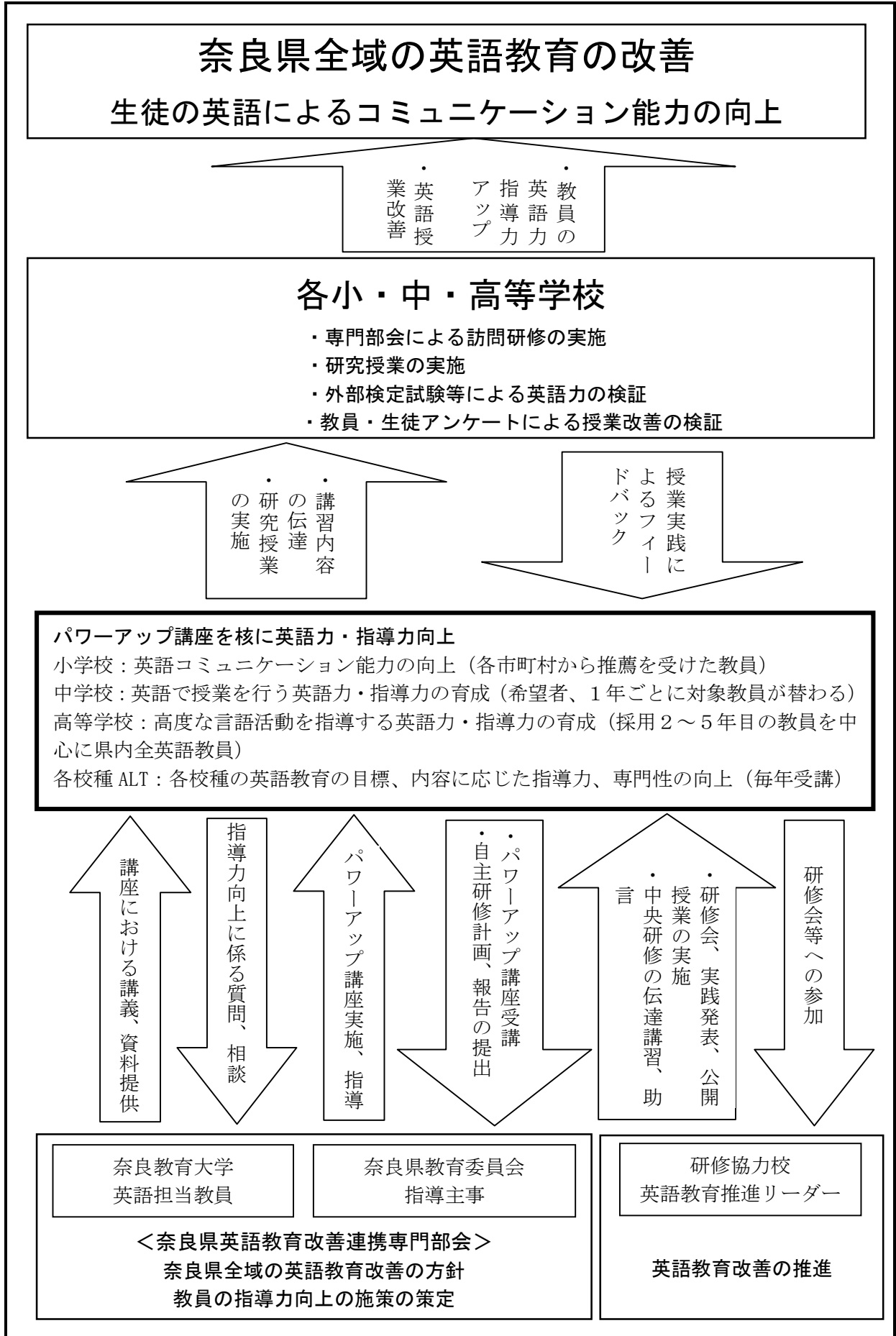


奈良県英語教育改善プラン

1. 実施内容

(1) 研修体制の概要



(2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

○英語教育の状況を踏まえた目標管理

外部検定試験（小学校教員は英検2級、中・高等学校教員は英検準1級以上とし、複数年受講の場合は1級合格を目指す。その他 TOEFL、TOEIC 等）により教員の英語力、教員・生徒対象アンケート（年2回実施）、英語教育実施状況調査により教員・生徒の英語力、教員の指導力の向上を検証する。さらに、受講者対象アンケートも併せ、奈良県英語教育改善専門部会において成果と課題を検証する。

域内の全中学校及び全高等学校対象

① 求められる英語力を有する担当教員の全担当教員に占める割合

英語指導パワーアップ講座において、受講者の英語コミュニケーション能力を高める研修を行い、受講者は年度末に外部検定試験を受験する。また、研修協力校において教員の英語力、指導力の向上を目的とした研修を行い、各学校における同様の取組を促進する。あわせて受講者以外の教員に対しても学習指導研究会などの機会に案内を行うことにより受験を促進する。外部検定試験の合格状況により検証。

② 求められる英語力を有する生徒の全生徒に占める割合（中学校第3学年、高等学校第3学年）

英語指導パワーアップ講座の内容について各受講者が勤務校で校内研修を行うことにより、各学校における指導の改善を図る。各学校で生徒の英語による言語活動を中心とした4技能のバランスのとれた授業が行われることにより、生徒の英語力を向上させる。英語教育実施状況調査により検証。

③ 「CAN-DO リスト」の形式で技能別に設定した学習到達目標の整備状況（設定・公表及び達成状況の把握等の状況）

中学校は、平成26年度に「CAN-DO リスト」の形式で設定した学習到達目標設定に向けた研修会を実施したが、引き続き各校において取組を進められるよう、研修会を開催する。高等学校は平成25年度において全ての学校で設定済みであるが、学習到達目標の見直しを行い、効果的な活用ができるよう研修会を実施する。英語教育実施状況調査で検証。

④ 授業における、生徒の英語による言語活動時間の占める割合

⑤ 「話すこと」及び「書くこと」における外国語（英語）表現の能力を評価するためのスピーキングテスト及びライティングテスト等のパフォーマンステストの実施状況

⑥ 授業における、英語担当教員の英語使用状況

英語指導パワーアップ講座で④～⑥に該当する指導と評価に係る内容の研修を実施。その研修を受け、各受講者が勤務校で校内研修を行うことにより、各学校における指導と評価の改善を図る。④～⑥について、英語指導パワーアップ講座、学習指導研究会等で各学校の状況を把握し、改善に向けた指導を行うとともに、研修協力校での取組を普及させる。英語教育実施状況調査、年2回実施する教員・生徒対象アンケートにより検証。

域内の全小学校対象

⑦ 相応の英語力を有する教員の全教員に占める割合

個々の研修計画にしたがって、各受講者が英語指導パワーアップ講座を核として行う英語コミュニケーション能力向上のための取組により、英語力の育成を図る。受講者は年度末に外部検定試験を受講する。また、受講者は各市町村、各学校において研修を実施し、教員の指導力向上を図るとともに、英語力向上の必要性の啓発を行う。外部検定試験、英語教育実施状況調査等により検証。

域内の全ての学校対象

⑧ 研修実施回数、研修受講者の人数及び全担当教員に占める割合

奈良県英語教育改善専門部会において、受講者対象アンケートにより、実施した研修の成果と課題の検証を行い、研修の改善を図ることにより、研修の充実を図る。教科等研究会との連携を強化し、教員への啓発を図り、参加人数を増加させる。

⑨ 外国語活動が好きな児童の割合

⑩ 英語が好きな中学生の割合

⑪ 将来国際的に活躍したいと考える高校生の割合

英語指導パワーアップ講座、受講者による校内研修、研修協力校の取組の普及等により、指導と評価の改善を図ることで、児童・生徒の学習意欲の向上を図る。また、奈良県高等学校国際教育研究協議会との連携により、各学校において、国際理解教育の取組の充実を図り、生徒の内向き志向の打破を目指す。英語指導パワーアップ講座受講者の勤務校で実施する、児童・生徒対象アンケートにおいて、これらの項目に関する数値の変化を分析することで検証。

本事業における研修の評価

年3回実施する奈良県英語教育改善専門部会において、研修参加教員のアンケートや、教員が受験した外部検定試験の結果、当該教員が実施する生徒アンケート等の分析をもとに研修の成果と課題を検証し、次年度の研修改善を図っていく。また、CAN-DO形式による学習到達目標の設定、公表、達成状況の把握等を通じて、各学校において適切な目標設定、それに対応した適切な指導と評価がなされているか、英語教育に関するPDCAサイクルが確立されているか等を検証することにより、生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上に向けた取組の改善を全県的に図っていく。

(3) 研修の体系と内容の具体

- 1 趣 旨：小・中・高の各段階を通じて英語教育を充実させるため、奈良教育大学等と連携し、英語教育担当教員に対する研修を強化し、教員の英語力・英語指導力等の資質向上を図るとともに、研修協力校の取組を実践発表等により普及させることで、県内全域の授業改善を図る。外部検定試験による英語力の検証及び教員・生徒対象アンケートや生徒の外部検定試験による授業改善の検証等により事業成果を測定する。
 - 2 名 称：英語指導パワーアップ講座
 - 3 期 間：平成28年6月～平成29年3月（研修実施日数5日間）（～平成30年3月）
 - 4 対 象：
 - 小 学 校：各市町村教育委員会が推薦し、今後各市町村の英語教育の中核教員となる者
・・・60名（1年で完結）
 - 中 学 校：希望者で、今後各市町村の英語教育の中核教員となる者・・・60名（1年で完結）
 - 高等学校：新規採用2～5年目の教員・・・25名（対象期間中は複数年にわたり継続して受講することもある）
上記以外の英語担当教員・・・25名（県下の全英語担当教員対象。ただし、平成26年度、27年度受講者を除く）
- A L T：県内A L T全員（毎年受講）
- ※各校種とも、上記対象者以外も、各回の研修会に参加できる体制をつくる。
※英語指導パワーアップ講座以外にも、研修協力校における研修等の機会を設け、異校種も含め、幅広い参加が可能となる体制をつくる。

5 目 標 :

- 小 学 校 : 外国語活動指導に必要な英語コミュニケーション能力 (英検 2 級程度) の育成。
 中 学 校 : 英語で授業を行うための指導力・英語力 (英検準 1 級程度以上) の育成。
 高等学校 : 高度な言語活動の指導力及び英語力 (英検準 1 級程度以上) の育成。

6 研修内容 :

(平成 28 年度)

年間 5 日間の全体の研修計画を基に、各参加者が、自主研修計画 (個人の目標と行動指標・成果指標の設定含む) を作成し、英語力、指導力の向上を目指して取り組む。

小 学 校 : 奈良教育大学教員及び英語教育推進リーダーが講師となり、クラスルームイングリッシュや A L T との打合せに必要な表現等、外国語活動指導を行うためのコミュニケーション能力育成に係る研修を実施。また、外国語活動の早期開始、高学年における英語の教科化等先進的な取組を行っている研修協力校や推進リーダーによる授業の参観、校内研修への参加を通して、指導力を育成する。参加者は各所属校において研究授業を実施し、成果の普及に努める。

中 学 校 : 先進的な取組を行っている英語教員、奈良教育大学教員、英語教育推進リーダー等が講師となり、英語で授業を行うための指導法、指導に必要なコミュニケーション能力の育成に係る研修を実施。CAN-DO 形式による学習到達目標の設定についても研修を実施し、参加者の所属校において今年度中に設定する。また、研修協力校や推進リーダーによる授業の参観や校内研修への参加を通して、指導の在り方について実践的に学ぶ。参加者は各所属校において研究授業を実施し、成果の普及に努める。

高等学校 : 大学教員、英語教育推進リーダー等が講師となり、英語の授業における高度な言語活動の指導力及び指導に必要なコミュニケーション能力の育成に係る研修を実施。また、研修協力校の教員による実践発表や、英語指導パワーアップ講座受講者代表による研究授業への参加を通して、指導の在り方について実践的に学ぶ。参加者は各所属校において研究授業を実施し、成果の普及に努める。

A L T : 外国語指導助手の指導力等向上研修を 2 日間にわたり実施。講演「日本人教員との協働について」、講義・ワークショップ「再任用 A L T としての心構え」、A L T と教員による実践発表・ワークショップ「A L T とのよりよい協力関係の構築」「A L T の効果的な活用」「ティームティーチングにおける効果的な教材の活用」「生徒の言語活動を促進させる効果的な活動例」、大学教員等による講義を行う。

(平成 29 年度)

平成 28 年度と同様の計画で実施。

ただし、高等学校・A L T に関しては、複数年受講者を考慮して、講師や講演テーマは変更していく。

7 検証方法 :

小 学 校 : 外部検定試験 (英検 2 級を標準とする、他 TOEFL、TOEIC 等) により教員の英語力、教員・児童対象アンケート (年 2 回実施) 及び英語教育実施状況調査により教員の指導力の向上を検証。受講者対象アンケート等も併せ、奈良県英語教育改善連携専門部会において成果と課題を検証する。

中 学 校 : 外部検定試験 (英検準 1 級以上、複数年受講の場合は 1 級合格を目指す、他 TOEFL、TOEIC 等) により教員の英語力、教員・生徒対象アンケート、英語教育実施状況調査により教員・生徒の英語力、教員の指導力の向上を検証。受講者対象アンケート等も併せ、奈良県英語教育改善連携専門部会において成果と課題を検証する。

高等学校 : 外部検定試験 (英検準 1 級以上、複数年受講の場合は 1 級合格を目指す、他 TOEFL、TOEIC 等) により教員の英語力、教員・生徒対象アンケート、英語教育実施状況調査により教員・生徒の英語力、教員の指導力の向上を検証。受講者対象アンケート

等も併せ、奈良県英語教育改善連携専門部会において成果と課題を検証する。

8 外部専門機関及び研修協力校：

奈良県教育委員会及び奈良教育大学、研修協力校等が連携して英語教育改善に向けた専門部会を設置。「英語指導パワーアップ講座」等により英語教育担当教員の資質を向上させ、奈良県英語教育を改善させるための方針、施策を策定し実施する。部会は年3回程度開催予定。

＜奈良県英語教育改善連携専門部会構成メンバー＞

- ・奈良県教育委員会事務局学校教育課指導主事（義務教育担当、高校教育担当）
- ・奈良県立教育研究所指導主事
- ・奈良教育大学英語教育担当教員（小学校教育担当、中学校教育担当、高校教育担当）

9 事業終了後の計画：

本事業の成果と課題を踏まえ、県単独で事業化を図り、教員の指導力を着実に向上させる体制を構築していく。

(4) 年間事業経過 ○英語指導パワーアップ講座 △講座受講者の取組 □研修協力校の取組
◎その他の研修

月	都道府県等の取組				外部専門機関
	小学校	中学校	高等学校	A L T	
5月	第1回奈良県英語教育改善連携専門部会				奈良教育大学
7月	○オリエンテーション ○小中連携に係る研修 ○教科化を見据えた外国語活動研修 ○スキルアップに係る研修 ○英語教育推進リーダーによる域内研修	○オリエンテーション ○小中連携に係る研修 ○生徒による言語活動中心の授業に係る研修 ○スキルアップに係る研修 ○英語教育推進リーダーによる域内研修	○オリエンテーション ○生徒による言語活動中心の授業に係る研修 △アンケート実施・目標設定シート提出		奈良教育大学 大阪樟蔭女子大学 京都産業大学 明海大学
8月	○英語教育推進リーダーによる域内研修 ○児童個々の特性に応じた指導に係る研修	○英語教育推進リーダーによる域内研修 ○県中学校外国語科英語教育研修会	○研修協力校による実践発表 ○英語教育推進リーダーによる域内研修 □英語指導力向上研修会		名古屋外国語大学
9月	△アンケート実施・目標設定シート提出	△アンケート実施・目標設定シート提出	○4技能によるコミュニケーション能力を養う授業づくり研修		(財)実用英語推進機構
10月					
11月		○ALTとの協働に係る研修 ○英語教育推進リーダーによる域内研修	○英語指導パワーアップ講座受講者による公開授業、研究協議 ◎学習指導研究会 ◎英語教育推進リーダーによる域内研修	外国語指導助手の指導力等向上研修	大阪教育大学 明海大学
12月	第2回奈良県英語教育改善連携専門部会				奈良教育大学
			□英語指導力向上研修会		天理大学
1月	(外国語活動研究会研究大会) △検定試験受験	△検定試験受験	△検定試験受験		
2月	◎外国語活動研究会研究大会 △アンケート実施 △研究授業実施	△アンケート実施 △研究授業実施 △検定試験受験	△アンケート実施 △研究授業実施 △検定試験受験		

	△検定試験受験				
3月	第3回奈良県英語教育改善連携専門部会				奈良教育大学
	△報告書提出	△報告書提出	△報告書提出		
【その他の取組】 研修協力校における、大学教授等を講師とする研修会開催 異校種の研修協力校間での研究授業参観 異校種の研修協力校間での CAN-DO リストや授業映像 DVD の共有 英語指導パワーアップ講座対象者以外の講座への参加奨励					

(様式2) 目標管理書

都道府県等 教育委員会名	奈良県教育委員会
-----------------	----------

※表中、斜線部は記入不要。計画段階では目標値のみ記入。

校種	No.	指標内容	H25	H26		H27		H28		H29	
			現状	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値
高等学校	①	求められる英語力を有する教師の割合(%)	33.4	62	36	67	45.4	60		75	
	②	求められる英語力を有する生徒の割合(%)	31.2	39	30	43	30.1	47		50	
	③	学習到達目標の整備状況 設定(%)	100	100	98.6	100	92.9	100		100	
		公表(%)	6.9	15	8.6	50	9.6	70		100	
		達成状況の把握(%)	100	100	35.7	100	36.5	100		100	
	④	生徒の授業における英語による言語活動時間の割合(%)	60.8	65	37.5	70	36.7	75		80	
	⑤	パフォーマンステストの実施状況			0.3	0.7	0.4	1		1.5	
		スピーキングテスト(回)			0.5	0.7	0.2	1		1.5	
						0.5	0.1	1			
					0.7	1	0.3	1.2		1.5	
					0.3	0.7	0.2	1		1.5	
		ライティングテスト(回)			0.1	0.5	0.2	1		1.5	
					0.4	0.7	0.1	1		1.5	
						0.5	0.1	1			
					0.1	0.5	0.3	1		1.5	
					0.8	1	0.2	1.2		1.5	
	⑥	英語担当教員の授業における英語使用状況(%)	69.4		40.6	80	32.7	70		100	
⑧	英語担当教員に対する研修実施回数		8	7	8	9	10		10		
	研修受講者数		320	144	320	278	400		400		

校種	No.	指標内容	H25	H26		H27		H28		H29	
			現状	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値
中学校	①	求められる英語力を有する教師の割合(%)	28.9	33	25.1	37	25.3	42		50	
	②	求められる英語力を有する生徒の割合(%)	16.8	39	29	43	34.1	47		50	
	③	学習到達目標の整備状況 設定(%)	16.2	35	20	60	23.1	60		100	
		公表(%)	9.5	15	4.8	30	4.8	70		100	
		達成状況の把握(%)	11.4	20	6.7	40	12.5	50		100	
	④	生徒の授業における英語による言語活動時間の割合(%)	41.6	45	33	50	55		60		
	⑤	パフォーマンステストの実施状況			2.1	2.5	6.7	2.5		3	
		ライティングテスト(回)			1.7	2	5.3	2.2		2.5	
	⑥	英語担当教員の授業における英語使用状況(%)	52.4		24	75	26.4	35		50	
	⑧	英語担当教員に対する研修実施回数		8	5	8	6	10		10	
	研修受講者数		400	110	400	232	500		500		

校種	No.	指標内容	H25	H26		H27		H28		H29	
			現状	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値
小学校	⑦	相応の英語力を有する小学校教員の割合(%)									
	⑧	小学校教員に対する研修実施回数		8	5	8	5	10		10	
		研修受講者数		400	120	400	305	500		500	

独自	No.	指標内容	H25	H26		H27		H28		H29	
			現状	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値
	⑨	外国語活動が好きな児童の割合(%)		60	88.5	63	72	90		92	
	⑩	英語が好きな中学生の割合(%)		50	62.8	53	66	70		75	
	⑪	将来国際的に活躍したいと考える高校生の割合(%)		40	45	43	48.4	50		53	